

(様式第3号)

企業・団体名(micane)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			年齢や性別等を元にした業務割り振りを行わず、本人の能力や希望を第一に考える体制づくりに取り組んでいる。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本		【予定】	ハラスメント禁止の旨をスタッフへ周知する。アンケート等にて定期的に聞き取りを行う。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			在宅勤務やテレワーク・オンラインでの会議や打ち合わせ等を標準的に行っている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			国籍等に関係なく、より高いレベルでの業務を希望する方には積極的に仕事の割り振りを行っている。			4.4					8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			在宅勤務やテレワーク・オンラインでの業務をメインとすることでそれぞれに適した労働環境で業務に当たって頂いている。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			従業員の希望をほぼ100%反映した休日設定を行っている。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			性別等に関係なく、より高いレベルでの業務を希望する方には積極的に仕事の割り振りを行っている。				5.1 5.5				8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			未経験の業務であっても希望者には割り振りを行い、必要な能力開発・向上のために必要な書籍や研修を提供している。			4	5.5			8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			作業内容にひもづけて報酬設定を行っている。				5.5				8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			休憩や休日を自由に設定できるようにし、それぞれに合った健康管理を行えるようにしている。			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の適切な処理・分別等を社内にて行っている。									11.6	12		14.1					
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			唯一の出社型勤務地である本社でのエネルギー使用量を把握している。							7.3				13						
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			本社の節電・節ガス等エネルギー資源の節約に努めている。							7.2 7.3			12.4	13.3						
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【非該当】		法令等で規制されている有害化学物質は使用していない。			3.9			6.3				11.6	12.4						

※記載例を参照の上、ご記入ください。

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			地域ごとに根ざした動植物を保護するための清掃活動を実施している。						6.6												15	
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			ごみの適切な分別を社内にて行っている。											13	14.1							
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ				本社の節電・節水等エネルギー資源の節約に努めている。					6.4	6.6												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格取得を目指す。			3.9		6	7					12	13.3	14	15					
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ				ホームページ上でどの地域にどのくらいのゴミが捨てられていたのか、清掃活動で集まったゴミの量などを公表している。											12.6							
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ				ソーラーパネルを利用した会社の緊急用電源を配備している。					7.2						13							
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ				社の備品(消耗品)に間伐材を利用したものを取り入れている。											12.2	13	14	15				
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている																		16	16.5
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為を含む行動規範の周知を実施している																		16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本				特許、商標等知的財産権の取得や管理をしている。							8.2	8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本				個人情報の共有範囲を常にチェックし、適切な範囲でのみ使用している。																	16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ		【非該当】		紛争鉱物は取り扱っていない。																	16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ				取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組の確認活動を行っている。				5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】		パートナーシップ構築宣言の登録を目指す。			3				8	9	10									17

※記載例を参照の上、ご記入ください。

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																														
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17														
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			サービスの購入から提供までの間に複数の担当者の確認が入るようにし、安全性保持に努めている。			3.9								12.4																				
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			サービスの購入から提供までの間に複数の担当者の確認が入るようにし、品質保持に努めている。									9																						
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			オンラインで提供できる娯楽やサービスの模索を常に行い、みだりに資源を使用しないサービスが提供できるよう努めている。							6					12	13	14	15																
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			オンラインで提供できる娯楽やサービスの模索を常に行い、移動が困難な方にも場所を限定しないサービス提供ができるよう努めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17														
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			オンライン業務化により地域に与える影響を限りなく縮小している。				4							9	11	12		14	15															
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			ゴミ拾いボランティア活動や募金活動に積極的に取り組んでいる。				4								11			14	15															
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			地域の事業者が販売している商品を購入するようにし、社員にも紹介を行っている。									8	9		11	12	13																	
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営理念及び経営目標は常に社内でも共有している。									8	9																				17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			法令について調査しつつ業務にあたるよう指導している。																														16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			外部からの問い合わせに対する担当者・窓口を置いている。																														16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			消費者アンケートなどを随時行い、フィードバックを業務に活用している。																														16 17	
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			リスクとなり得る要素をスタッフとの対話で常に洗い出すようにしている。																														16	
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	CSRを元にした方針の策定を目指す。																														16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			本社に災害時等の備えのため1週間分の水・食料の保存と停電時に業務が継続できるよう発電機を用意している。また、テレワーク化を推進し交通機関が麻痺している時でも業務が行えるようにしている。										9		11			13 13.1															16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			後継者候補を決めている。								8	9																					17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】
 ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
 ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
 ○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
 ○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定